

I 洲本市財政事情（令和4年6月30日現在）

(1) 収入及び支出の概況（一般会計及び特別会計の執行状況）

（単位：千円、％）

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率	
一般会計	36,104,528	7,514,046	20.8	4,811,277	13.3	
国民健康保険	事業勘定	5,336,600	460,136	8.6	371,503	7.0
	直営診療施設勘定	304,000	16,866	5.5	60,685	20.0
由良財産区	912	109	12.0	0	0.0	
納、鮎屋財産区	73	1	1.4	0	0.0	
堺財産区	317	139	43.8	0	0.0	
CATV事業	1,108,800	209,448	18.9	140,388	12.7	
介護保険	事業勘定	5,423,000	975,268	18.0	866,270	16.0
	介護サービス事業勘定	141,741	5,583	3.9	44,293	31.2
後期高齢者医療	775,300	76,351	9.8	64,458	8.3	

(2) 住民の負担の状況

（単位：円）

（単位：円）

区分	一人当たり支出額	区分	一人当たり支出額
議会費	4,721	土木費	58,615
総務費	319,755	消防費	21,978
民生費	187,708	教育費	53,646
衛生費	48,190	災害復旧費	5,818
労働費	642	公債費	102,425
農林水産業費	37,564	その他	476
商工費	17,338	合計	858,876

※上記の額は、現計予算額を令和4年6月30日現在の住民基本台帳人口42,037人で割った額。

(3) 公営事業の経理の概況

（単位：千円、％）

会計名	収入予算現額	収入済額	収入率	支出予算現額	支出済額	支出率	
介護サービス事業	収益的収入及び支出	113,527	6,175	5.4	112,604	7,487	6.6
	資本的収入及び支出	15,000	0	0.0	27,562	580	2.1
駐車場事業	収益的収入及び支出	40,401	6,679	16.5	43,471	5,900	13.6
下水道事業	収益的収入及び支出	1,097,174	249,632	22.8	1,118,400	63,925	5.7
	資本的収入及び支出	1,263,313	330	0.0	1,947,500	171,602	8.8
土地取得造成事業	収益的収入及び支出	39,002	16,319	41.8	101,844	10,683	10.5
	資本的収入及び支出	15,000	0	0.0	19,914	4,914	24.7

(4) 財産、公債及び一時借入金の現在高

(ア) 市有財産（主なもの）（単位：㎡、千円）

区分	種別	数量又は金額
土地及び建物	宅地	1,711,974.87
	山林	2,685,623.85
	その他土地	1,335,449.66
	建物	277,151.17
有価証券	株券	489,500
債権	貸付金等	0
出資による権利	出資金	3,510,724
基金		9,981,786

(イ) 市債現在高（単位：千円）

会計名	現在高
一般会計	25,959,268
特別会計	1,996,621
国民健康保険	30,521
CATV事業	1,966,100
企業会計	12,132,846
介護サービス事業	119,109
下水道事業	12,013,737
合計	40,088,735

(ウ) 一時借入金現在高（単位：千円）

借入先	現在高
-	-

II 令和3年度決算概要

(1) 一般会計について

① 決算規模

特別定額給付金事業費が皆減したものの、新型コロナウイルス感染症対策への取組やふるさと納税の増額などにより、対前年度28億9百万円増(対前年度+7.8%)の387億88百万円となった。

(歳入 : 394億5,772万円 (対前年度: +33億1,982万円、+9.2%))
(歳出 : 387億8,804万円 (対前年度: +28億940万円、+7.8%))

② 決算収支

実質収支は昨年度に引き続き黒字、実質単年度収支は、地方交付税の増収や繰上償還の実施などにより、平成26年度以来7年ぶりに黒字に転じた。

【一般会計決算収支の状況】

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度 a	令和2年度 b	差引増減額 a-b	対前年度比 (a-b)/b
歳入総額 A	39,457,719	36,137,903	3,319,816	9.2
歳出総額 B	38,788,042	35,978,642	2,809,400	7.8
形式収支 (A-B) = C	669,677	159,261	510,416	320.5
翌年度繰越財源 D	82,134	56,553	25,581	45.2
実質収支 (C-D) = E	587,543	102,708	484,835	472.1
単年度収支 F	484,835	△ 169,489	654,324	—
財政調整基金積立金 G	60,770	150,550	△ 89,780	△ 59.6
繰上償還金 H	372,927	0	372,927	皆増
財政調整基金取崩額 I	0	135,000	△ 135,000	皆減
実質単年度収支 (F+G+H-I)	918,532	△ 153,939	1,072,471	—

③歳入

【歳入の内訳】

(単位:千円、%)

科 目	令和3年度 a	構成比	令和2年度 b	構成比	差引増減額 a-b	対前年度比 (a-b)/b
10 市 税	5,678,604	14.4	5,724,568	15.8	△ 45,964	△ 0.8
15 地 方 譲 与 税	183,992	0.5	180,425	0.5	3,567	2.0
20 利 子 割 交 付 金	4,553	0.0	5,784	0.1	△ 1,231	△ 21.3
22 配 当 割 交 付 金	45,829	0.1	32,410	0.1	13,419	41.4
23 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	53,872	0.1	37,436	0.1	16,436	43.9
25 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	25,683	0.1	23,916	0.1	1,767	7.4
27 法 人 事 業 税 交 付 金	75,479	0.2	38,069	0.1	37,410	98.3
28 地 方 消 費 税 交 付 金	1,005,201	2.5	934,906	2.6	70,295	7.5
36 環 境 性 能 割 交 付 金	26,830	0.1	21,195	0.1	5,635	26.6
38 地 方 特 例 交 付 金	237,324	0.6	35,681	0.1	201,643	565.1
40 地 方 交 付 税	6,921,096	17.5	6,373,949	17.6	547,147	8.6
45 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	6,737	0.0	6,997	0.1	△ 260	△ 3.7
50 分 担 金 及 び 負 担 金	61,483	0.2	66,552	0.2	△ 5,069	△ 7.6
55 使 用 料 及 び 手 数 料	572,865	1.5	565,022	1.5	7,843	1.4
60 国 庫 支 出 金	4,629,518	11.7	7,671,824	21.2	△ 3,042,306	△ 39.7
65 県 支 出 金	1,926,518	4.9	1,615,625	4.5	310,893	19.2
70 財 産 収 入	73,812	0.2	85,416	0.2	△ 11,604	△ 13.6
75 寄 附 金	7,846,479	19.9	5,438,344	15.0	2,408,135	44.3
80 繰 入 金	6,368,607	16.1	4,115,773	11.4	2,252,834	54.7
85 繰 越 金	159,261	0.4	340,777	0.9	△ 181,516	△ 53.3
90 諸 収 入	491,313	1.2	492,105	1.4	△ 792	△ 0.2
95 市 債	3,062,663	7.8	2,331,129	6.4	731,534	31.4
合 計	39,457,719	100.0	36,137,903	100.0	3,319,816	9.2

④歳出

【歳出の内訳】

(単位:千円、%)

科	目	令和3年度 a	構成比	令和2年度 b	構成比	差引増減額 a-b	対前年度比 (a-b)/b
10	議会費	191,081	0.5	177,155	0.5	13,926	7.9
15	総務費	16,797,280	43.3	15,937,822	44.3	859,458	5.4
20	民生費	8,526,679	22.0	7,666,870	21.3	859,809	11.2
25	衛生費	1,654,269	4.3	1,499,401	4.2	154,868	10.3
30	労働費	27,627	0.1	27,231	0.1	396	1.5
35	農林水産業費	1,229,329	3.2	1,134,362	3.1	94,967	8.4
40	商工費	684,923	1.8	1,011,189	2.8	△ 326,266	△ 32.3
45	土木費	1,916,796	4.9	1,806,680	5.0	110,116	6.1
50	消防費	1,142,632	2.9	885,183	2.5	257,449	29.1
55	教育費	1,922,750	4.9	1,948,006	5.4	△ 25,256	△ 1.3
60	災害復旧費	224,312	0.6	62,025	0.2	162,287	261.6
65	公債費	4,470,364	11.5	3,822,718	10.6	647,646	16.9
合計		38,788,042	100.0	35,978,642	100.0	2,809,400	7.8

【性質別(歳出)の状況】

(単位:千円、%)

科	目	令和3年度 a	構成比	令和2年度 b	構成比	差引増減額 a-b	対前年度比 (a-b)/b
義務的経費		13,210,408	34.0	11,431,228	31.7	1,779,180	15.6
	人件費	3,892,869	10.0	3,862,140	10.7	30,729	0.8
	扶助費	4,846,457	12.5	3,745,381	10.4	1,101,076	29.4
	公債費	4,471,082	11.5	3,823,707	10.6	647,375	16.9
その他経費		12,371,192	31.9	13,884,011	38.6	△ 1,512,819	△ 10.9
	補助費	3,764,335	9.7	8,088,937	22.5	△ 4,324,602	△ 53.5
	物件費、維持補修費	8,606,857	22.2	5,795,074	16.1	2,811,783	48.5
投資的経費		2,709,459	7.0	2,380,732	6.6	328,727	13.8
	普通建設費	2,484,139	6.4	2,316,560	6.4	167,579	7.2
	災害復旧費	225,320	0.6	64,172	0.2	161,148	251.1
投資及び出資金、貸付金		7,050	0.0	8,230	0.1	△ 1,180	△ 14.3
繰出金		2,538,200	6.6	2,667,139	7.4	△ 128,939	△ 4.8
財政調整基金等積立金		7,951,733	20.5	5,607,302	15.6	2,344,431	41.8
合計		38,788,042	100.0	35,978,642	100.0	2,809,400	7.8

(2) 特別会計について

○ 決算規模

歳入	： 13,481,628千円 (対前年度： +232,443千円、+1.8%)
歳出	： 13,238,344千円 (対前年度： +118,687千円、+0.9%)

【特別会計決算収支の状況】

(単位：千円)

区 分	歳 入			歳 出			形式収支 (a-c) e	翌年度 繰越財源 f	実質収支 (e-f)	
	令和3年度 a	令和2年度 b	対前年度比 (a-b)/b	令和3年度 c	令和2年度 d	対前年度比 (c-d)/d				
国民健康保険	事業勘定	5,550,779	5,481,371	1.3	5,472,585	5,433,718	0.7	78,194	0	78,194
	直営診療施設勘定	266,912	305,245	△ 12.6	266,912	305,245	△ 12.6	0	0	0
由良財産区	1,621	1,060	52.9	1,621	1,060	52.9	0	0	0	
納、鮎屋財産区	67	67	0.0	67	67	0.0	0	0	0	
堺財産区	443	444	△ 0.2	321	323	△ 0.6	122	0	122	
CATV事業	1,365,510	1,279,597	6.7	1,365,510	1,254,819	8.8	0	0	0	
介護保険	事業勘定	5,358,786	5,240,966	2.2	5,213,739	5,201,729	0.2	145,047	0	145,047
	介護サービス事業勘定	137,282	139,472	△ 1.6	135,941	139,472	△ 2.5	1,341	1,341	0
後期高齢者医療	800,228	800,963	△ 0.1	781,648	783,224	△ 0.2	18,580	0	18,580	
合 計	13,481,628	13,249,185	1.8	13,238,344	13,119,657	0.9	243,284	1,341	241,943	

(3) 公営企業会計について

【公営企業会計決算収支の状況】

(税込、単位：千円)

会 計	区 分	入			出			地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額
		令和3年度 a	令和2年度 b	対前年度比 (a-b)/b	令和3年度 c	令和2年度 d	対前年度比 (c-d)/d	
介護サービス事業	収益的収支	106,500	115,661	△ 7.9	106,172	119,517	△ 11.2	0
	資本的収支	16,856	24,019	△ 29.8	31,565	25,563	23.5	0
駐車場事業	収益的収支	31,626	31,508	0.4	37,244	39,736	△ 6.3	0
	資本的収支	-	-	-	-	-	-	-
下水道事業	収益的収支	1,117,813	1,109,151	0.8	1,084,936	1,070,068	1.4	0
	資本的収支	1,762,420	1,481,093	19.0	2,216,619	1,906,849	16.2	202,115
土地取得造成事業	収益的収支	110,258	822,127	△ 86.6	158,763	695,441	△ 77.2	0
	資本的収支	0	160,000	皆減	18,099	449,361	△ 96.0	4,914
合 計		3,145,473	3,743,559	△ 16.0	3,653,398	4,306,535	△ 15.2	207,029

(3) 健全化判断比率について

①実質赤字比率、連結実質赤字比率は発生せず、いずれも黒字となった。

②実質公債費比率(令和元年度～令和3年度の3か年平均)は、前年度より0.3%改善し、14.0%となった。昨年度に引き続き、地方債の発行に当たり都道府県知事の許可を要する団体の基準値(18%)を下回った。

③将来負担比率は、基金残高の増などから、前年度より17.2%改善し、45.6%となった。

【健全化判断比率の状況】

(単位:%)

財 政 指 標	令和元年度	令和2年度 ①	令和3年度 ②	②-①	早期健全化 基 準	財政再生 基 準	財政指標の概要
実 質 赤 字 比 率	—	—	—	—	12.92	20.0	一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	—	—	—	—	17.92	30.0	全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率
実 質 公 債 費 比 率	14.8	14.3	14.0	△ 0.3	25.0	35.0	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率の過去3か年の平均値
将 来 負 担 比 率	95.9	62.8	45.6	△ 17.2	350.0		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

【参考】

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
単 年 度 実 質 公 債 費 比 率	16.2	14.2	14.2	14.6	13.2